

奈弓連だより

通巻 250号

令和4年12月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中正
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先: henshu@narakyudo.jp

令和4年度 中堅層特別講習会を終えて 各自が自身の課題を明確にして取り組む

9月11日(日)、10月10日(月・祝)、11月20日(日)の3回に渡り令和4年度中堅層特別講習会が、阪中計夫教士六段を講師に迎えて行われました。



自分のことを見つめ 語り合う

今回の講習会は、各自の課題を明確にして参加するものでした。3回にわたって、どういう取り組みをしていくか、どういう取り組みをしたかを、お互いに確認しながら進めました。自主性を求められた今回の講習会ですが、将来の奈良県弓道連盟を牽引してくれる人材になって欲しいという願いがありました。

17名の講習生の自己紹介から始まり、一手行射の後には阪中講師より、講習会で親交を深めながら自分の課題や目標の達成に近づけられるように、頑張っ欲しいとの講評がありました。

1回目の講習会では、阪中講師と吉本指導部長の射技や体配の指導を中心に行い、2回目は西中会長にも講習会の様子を見て頂きながら射技研修や持ち的研修を行い、阪中講師からは、射法訓・礼記射義を講義して頂きました。礼記射義は約2500年前の中国の哲学者「孔子」の教えであること、射法訓の意味を確認し勉強をしました。

3回目は、指導部と講習生で行われました。講習生が準備等を率先して動いてくれましたし、講習会の中でもお互いを思いやる様子や協力して進める様子も見られました。

肌脱ぎや襷さきの研修や、昼食をはさんで射礼研修を3回行うなど、かなり充実した講習でした。最後に

訃報

吉本清信範士九段がご逝去されました。

令和4年12月16日 享年78才

弓道を愛し、人の和を大切にされ、医療人・僧侶としても最後まで私達にその生き方を見せてくださいました。

心から哀悼の意を表しますとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(奈良県弓道連盟 会長 西中正)



意識を高く一手行射に臨む

仕上げとして、5人立ちの持ち的を行いました。時間も押して、講習生の疲れも既にピークでしたが、息合いを意識した見事な持ち的射礼でした。

射技の課題にもしっかりと取り組んで、講習会に臨む姿勢は必ず今後の成長につながるものと確信しました。課題の克服には何年もかかりますので、一射一射を意識して丁寧に稽古を積んでいく事が大切であることを阪中講師はおっしゃられていました。

今までの中堅層特別講習会の内容とは違いましたので、講習生だけでなく指導部も手探りの状態で進められましたので、講習生にはご不便をかけた点もあったかと思いますが、無事に終えられたことを感謝いたします。なお、第1回・第2回と講師でご指導いただきました阪中先生、第2回には西中会長のご指導もいただきました。緊張感の中に時々笑いもあって、有意義な講習会でした。本当に有難うございました。

講習生の皆様も大変お疲れ様でした。皆さんの今後の活躍をお祈りいたします。

(指導部 白井礼子)

ねりんピックに参加して

緊張と不安とワクワクと！決勝T進出！

めでたく？ねりんピック参加条件の年齢に達したので、私をスキーに連れてって…ではなく、「私をねりんへ連れてって〜」と参加者を募った所、素晴らしいメンバーに恵まれ、県内の選考会を経て、いざねりんピックへ！



横浜アリーナでの開会式には、三笠宮 彬子女王殿下のご臨席を賜り、スポーツ庁長官の室伏さん、女優の草笛光子さん、司会に榎原郁恵さん。盛大に行われ、その風景に、凄い所に来たんだなと思いました。弓道大会は、参加チーム数 68、参加者数 445 名で、神奈川県秦野市にて行われました。最高年齢での参加は、男性 94 歳、女性 87 歳。予選は 2 日間にわたり行われました。決勝トーナメントへ行くには半矢以上ないと…と聞いていたので、各自最低半矢は入れたい所ですが、離してみないとわかりません。奈良県は 24 番目の立順。緊張と不安とワクワクが交差する中、皆が頑張ってくれるから大丈夫！と自分に言い聞かせ予選に臨みました。私達の予選が終わった時点では、決勝トーナメントに進めそうなか中数でしたが、まだ三分の二ほどの立が残っているので、決勝へ進めるかどうかはわかりません。速報が出る度、胸をなでおろしながら長い時間待機していました。結果、的中数は上位から 3 番目で、無事予選通過！いざ決勝トーナメントへ！が、しかし…予選を待っている間に、集中力が落ちたのか、緊張したのか、メンバー全員の力が発揮できず、残念ながら入賞には届きませんでした。しかし、決勝トーナメント進出と言う事で、優秀賞のメダルを頂きました。嬉しい！出発の一週間前に弓が壊れた人、宿泊ホテルのベッドが合わなくて腰を痛めた人などありましたが、よく頑張りました。決勝に出場できた事は大変貴重な体験で、気づきや学びもあり、この経験を次につなげて行ければと思います。私達と同じく優

昇格おめでとうございます

【近畿地区】臨時中央審査会において次の方が昇格されました。

(12月4日開催 滋賀県立武道館弓道場)

錬士

太田 和宏さん (奈良支部)

おめでとうございます。(事務局)

秀賞の和歌山県チームさんに、「また決勝で会いましょう！」と言われ、全員が再びこのメンバーでねりんへ行こう！と2年後のねりんピックに気持ちが向かっています！初のねりんピック。良いチームに恵まれ、本当に良かった！感謝です。

次の大会もよろしくお願いします！

(奈良支部 栄島なるみ)

第 48 回奈良県中学校弓道新人大会

新体制での初試合、団体は男女とも檀原が制す

11月13日(日)檀原公苑弓道場にて中学校新人大会が開催されました。新チームになって初めての県大会でした。雨の中の試合になりました。団体は男子も女子も檀原中が優勝しました。参加人数は、男子 38 名、女子 79 名でした。結果は以下の通りです。

<個人戦>

1年 男子

優勝 和田 将成 (八木)
2位 辻田 知希 (檀原)
3位 名本 蒼志 (天理南)

女子

森内 英奈 (檀原)
陰地 舞 (白檀)
坂本 楓 (檀原)

2年男子

優勝 岡嶋 亮太 (檀原)
2位 松村 寿洸 (八木)
3位 山本 眞大朗 (白檀)

女子

新原 未悠 (檀原)
大塚 万伊 (大成)
河野 杏來 (香芝)



個人戦入賞者

前列左から 2 年女子 1 位～3 位、2 年男子 1 位～3 位
後列左から 1 年女子 1 位～3 位、1 年男子 1 位～3 位

<団体戦>男子

- 優勝 檀原中A(岡嶋・中村・田村)
- 2位 白檀中A(丹喜・山本・井上)
- 3位 白檀中B(石田・藤田・廣瀬)



男子団体 前列1位、後列左2位 右3位

女子

- 優勝 檀原中A(岡嶋・中村・田村)
- 2位 香芝中A(伊藤・河野・鶴谷)
- 3位 大成中A(吉岡・西田・大塚)



女子団体 前列1位 後列左2位 右3位

第41回全国高等学校弓道選抜大会兼第30回近畿高等学校弓道選抜大会県予選(檀原公苑弓道場) 全国大会の切符は男女とも法隆寺国際が掴む

標記の大会が檀原公苑弓道場にて開催されました。

●10月30日(日)1次予選

11月6日(日)2次予選・決勝

各自8射 団体(3人立計24射)上位8校が予選通過。個人は女子4中以上・男子5中以上が予選通過。

男女とも団体1~4位・個人1~8位を表彰

●団体1位・個人1位・2位は、12月23・24・25日に熊本市総合体育館(熊本県)で行われる第41回全国高等学校弓道選抜大会に出場する。

●団体1位~4位・個人1位~6位は、11月19日・20日 田辺市弓道場(和歌山県)で行われる第30回記念近畿高等学校弓道選抜大会に出場する。

男子団体

畝傍・法隆寺国際・高田商業(15中)、五條・檀原(14中、奈良(11中)、奈良北・郡山(10中)

女子団体

郡山(18中)、奈良(15中)、法隆寺国際・桜井(11中)、五條・檀原(8中)、磯城野・国際(7中)

個人

女子21名通過。男子16名通過。11月6日に個人準決勝決勝・団体予選リーグ決勝トーナメントを行う

個人結果 男子

- 1位 岡田昂己(桜井)
- 2位 秋田大地(法隆寺国際)
- 3位 谷口光希(檀原)
- 4位 小川煌太(法隆寺国際)
- 5位 宮崎翔大(奈良北)
- 6位 北川羽琉(五條)
- 7位 森本葵(高田商業)
- 8位 矢木驍(郡山)

女子

- 廣谷萌音(郡山)
- 金澤由乃(桜井)
- 吉川未悠(郡山)
- 野美優(法隆寺国際)
- 寺嶋来望(法隆寺国際)
- 草間梨々花(奈良)
- 金由良(桜井)
- 山本郁美(郡山)



個人入賞者(左から1位)

<団体戦>

予選通過8校を4校ずつ2リーグに分けて総当たりのリーグ戦を行い、上位2校ずつでの決勝トーナメント

男子団体

男子Aリーグ

- 1位 檀原 3勝0敗 24中
- 2位 郡山 2勝1敗 17中
- 3位 畝傍 1勝2敗 16中
- 4位 五條 0勝3敗 11中

男子Bリーグ

- 法隆寺国際 3勝0敗 22中
- 奈良 2勝1敗 20中
- 高田商業 1勝2敗 20中
- 奈良北 0勝3敗 16中

決勝トーナメント・3位決定戦結果

1位 法隆寺国際 準決勝8中 決勝9中

(小川煌太, 山口天愛, 秋田大地, 北村大悟)

2位 檀原 準決勝9中 決勝2中

(谷口光希, 平田壮吾, 大倉樹里, 上田青直)

3位 奈良 準決勝4中 3位決定戦7中

(高間大翔, 吉田拓海, 竹田匠汰, 柳川翔)

4位 郡山 準決勝5中 3位決定戦6中

(由佐陽樹, 矢木驍, 柿本康介, 水内成希)



男子団体 前列左から1位2位、後列左から3位4位

女子団体

女子Aリーグ

1位 郡山 3勝0敗 21中
2位 桜井 2勝1敗 21中
3位 五條 1勝2敗 9中
4位 国際 0勝3敗 13中

女子Bリーグ

法隆寺国際 2勝1敗 19中
磯城野 2勝1敗 12中
奈良 1勝2敗 13中
樫原 1勝2敗 9中

決勝トーナメント・3位決定戦結果

1位 法隆寺国際 準決勝6中 決勝11中

(野村美優, 寺嶋来望, 住吉依香, 戸田和那)

2位 郡山 準決勝7中 決勝9中

(廣谷萌音, 山本郁美, 小川愛加, 上山美希子)

3位 桜井 準決勝4中 3位決定戦6-2中

(金原由良, 福本菜月, 金澤由乃, 河村優)

4位 磯城野 準決勝4中 3位決定戦6-0中

(北野陽菜, 岡本未音, 松本遥音, 辻本心)



女子団体入賞者

前列左から1位・2位、後列左から3位・4位

第30回記念近畿高等学校選抜大会 女子団体の部で桜井高校が第3位

11月19日20日(田辺市弓道場)で開催されました。

<個人戦>

予選(4射3中以上予選通過)

男子

岡田 昂己(桜井) 1中
秋田 大地(法隆寺国際) 2中
谷口 光希(樫原) 3中→通過

小川 煌太(法隆寺国際) 3中→通過

宮崎 翔大(奈良北) 4中→通過

北川 羽琉(五條) 4中→通過

女子

廣谷 萌音(郡山) 2中

金澤 由乃(桜井) 2中

吉川 未悠(郡山) 2中

野村 美優(法隆寺国際) 0中

寺嶋 来望(法隆寺国際) 3中→通過

草間 梨々花(奈良) 2中

決勝(射詰 5射目より8寸的を用いる)

男子

谷口 ×

小川 ○○○×(遠近法の末5位入賞)

宮崎 ○○○×(遠近法の末6位入賞)

北川 ×

女子

寺嶋 ×

男子個人の部・結果

第5位 小川 煌太(法隆寺国際)

第6位 宮崎 翔大(奈良北)

<団体戦>

予選(各自4射チーム12射

上位8校が決勝トーナメント進出)

男子

法隆寺国際 7-1中

(小川煌太, 山口天愛, 秋田大地, 北村大悟)

樫原 7-1中

(谷口光希, 平田壮吾, 大倉樹里, 上田青直)

奈良 2中

(高間大翔, 吉田拓海, 竹田匠汰, 柳川翔)

郡山 7-2中→通過

(由佐陽樹, 矢木驍, 柿本康介, 水内成希)

女子

法隆寺国際 5中

(野村美優, 寺嶋来望, 住吉依香, 戸田和那)

郡山 8中→通過

(廣谷萌音, 山本郁美, 小川愛加, 上山美希子)

桜井 7-1中→通過

(金原由良, 河村優, 金澤由乃, 福本菜月)

磯城野 0中

(北野陽菜, 岡本未音, 松本遥音, 辻本心)

決勝トーナメント

男子1回戦 郡山 4中 対 甲南 6中 負け

女子1回戦 桜井 9中 対 彦根翔西館 8中勝ち

郡山 5-2, 1, 0中 対 綾羽 5-2, 1, 1中 負け

準決勝 桜井 8中 対 綾羽 9中 負け



第30回記念 近畿高等学校 弓道選抜大会

女子団体の部 第3位 桜井高校

第40回奈良女子弓道大会

記念大会にふさわしく、充実した大会に

11月23日、小雨降り続くなか、ロート奈良(奈良市)弓道場で奈良女子弓道大会を開催しました。3年ぶりに奈良県的女子が一堂に集まり、40回目の記念大会を開くことができました。中学校2校と高校6校を含む団体27チームと個人5名、計86名が参加。「優雅のうちに、容姿凛然たること」を目指し熱戦を繰り広げるとともに、競技の進行や順位判定の方法など、競技運営を実践で学ぶ機会となりました。参加のみなさんに、感染防止策と運営にご協力いただいたおかげで無事終わることができました。本当にありがとうございました。矢数は各自4射ずつ2回(1チーム24射)で行い、団体戦では17中の奈良Aチームが優勝。個人戦では弐段以下の部5名、参段以上の部6名が決勝に進み、参段以上では競技が6回に及ぶなど凌ぎを削りました。



参段以上では競技が6回に及ぶなど凌ぎを削りました。

熱戦を繰り広げる
選手たち

結果は次の通りです。

団体 1位 奈良A (土屋、吉野、藤森)
2位 天理大学 (井上、片山、坂口)
3位 錬弓会B (八木、鷲尾、白井)

個人

弐段以下の部

1位 坂口うらら(天理大) 2位 植島直子(橿原)

3位 片山綾菜(天理大)



競技 弐段以下の部

参段以上の部

1位 藤森康恵(奈良) 2位 明瀬綾子(奈良)

3位 土谷ひろみ(奈良)

(奈良市弓道協会 高倉美香)

道場の冬支度

布目弓道場「英明館」と石打・西浦道場の冬支度を行いました。



石打 西浦道場

こじんまりした道場のいい点でしょうか。これからの冬のシーズン、暖かい道場で練習ができるのはありがたいです。

布目金曜日練習会と石打月曜日練習会でお世話になっているメンバーで、射場に防寒用のビニールを張りました。



布目 英明館

(シャープ弓道部 工藤裕章)

編 | 集 | 後 | 記

吉本清信先生が2002年9月に「奈弓連だより」1号を創刊されてから、今号で250号。たくさんの記事が掲載され、県内の皆様の交流の一旦を担っているのではないかと思います。「思いやりを持って、仲良く弓を引いてください」先生が良く言われていた言葉が思い出されます。奈弓連だよりの根底にも先生のお心を感じます。ご冥福をお祈り申し上げます。(編集 松澤和実)